希学園 第391回 公開テスト 小3 国語 2024年12月8日実施 【模範解答】 制限時間30分

1

① 大雪

② 遠く

③ 人里

④ 地道

⑤ 足早（速）

2

1 印や記号

2 A エ

B ア

3 象形文字

4 エ

5 末・本 ［完答・順不同］

6 事

7 I 2

II 1

3

1 ウ

2 エ

3 ア

4 I 病院

II キャ

5 見た

6 A イ

B ウ

7 ほこりっぽ

配点

1	各2点× 5＝10点
2～3	各5点×18＝90点
	＜計＞100点

希学園 第391回 公開テスト 小3 国語 2024年12月8日実施 【解説】

1

小学校2年生までに学習する漢字から出題している。①「大雪」は雪が大量に降ること。また、大量に降り積もった雪。「あめかんむり」の形は「雨」と少しちがうので正しく書こう。②「遠」のしんにょうは三画で書く。③「人里」は人の集まり住んでいるところ。④「地道」は、手堅く着実に物事をすること。地味でまじめなこと。⑤「足早」は歩くのが速いこと。「速」を使うのは一般的ではないので、「足早」のほうでおぼえておこう。

2

1 「線や点など」をあらわす四字のことばである。近くに答えがないので見つけにくかったかもしれない。最後のまとめのところで「印や記号」が出てくる。

2 A…「まず、一本の横棒を引く」→そして→「その横棒の上に、点をうつ」
B…「木の先や、根もとだけを絵にするのは、なかなかむずかしい」→そこで→「木の先をあらわすために、『木』の上のところに線を引いて、『末』という字をつくった」

3 本文はじめに、「目にみえるものの形をそのまま書いたのが、象形文字」とあった。「目にみえるものの形をそのまま書いた」というのは、言いかえると「絵のようにうつ」したということである。

4 「末」も「本」も「木」とは関係のない意味をあらわすようになったということは「木から意味がはなれた」ということである。まずは「～から意味がはなれる」という言い回しが正しいという感覚を持ってほしい。「木から意味がきえていって」は「木の意味がきえた」ということをあらわすには不正確な言い方である。

5 ことばをおぎなって書くと、『刃』という字も、『末』や『本』と同じようにしてできた。」という文になる。

6 直後に「～いるので『指事文字』という」とある。

7 Ⅰ 「それまでにできた漢字」は「利用した」だけで、組み合わせたのではない。そもそも「上」「下」「一」「二」「三」など、「それまでにできた漢字」をつかっていない指事文字もある。
Ⅱ 「一本の横棒を引く」「基準になる線だ」とあり、この基準になる線の上や下に点をうってできた字が「上」「下」であった。

3

1 どうやら前日から、ことらの食欲がないことが二人とも気になっていたようである。「食べてないわね」ということばを「た め息まじり」にいっているのだから、前日の状態がつづいていて「困っている」ということである。

2 「合わないもの」をえらぶことに注意しよう。エは「わかっていた」というのがおかしい。もしそうなら、本文はじめのた め息まじりの「食べてないわね」とつじつまが合わなくなる。

3 「苦笑」は「にがわらい」であり、「他人または自分の行動やおかれた状況の愚かしさ・こっけいさに、不快感やとまどい の気持ちを持ちながら、しかたなく笑うこと」である。この「苦笑」のイメージさえつかんでいればアがえらべる。

4 このあとで「お母さんはキャリーケースをとりだしてぼくにわたした」とある。これでⅡには「キャリーケース」がはいる ことがわかる。このキャリーケースは何に使うのかというと、本文の最後に「その中にバスタオルをしいて、ことらを入れた」 とあるので、ことらを入れるためであったことがわかる。なぜ入れるのかというと、「病院に連れていく」ためである。

5 「いつもことらは、…丸くなったり、からだをのばしておなかを見せていたり、香箱座りだったり、いろんなかっこうで寝 てるけど、いまは、足を投げだしてぐたっとしてる」とあった。「足を投げだして」いるのは今まで「見たことがない」から どきんとしたのである。（　　）に「ぐたっとしてる」を入れると「ぐたっとしてるかっこうで、ぐたっとしていた」となっ てしまうし、「今までに」という前の部分ともつながらない。

6 A…「視線を集中して見る」という意味の「じっと」がはいる。生きているかどうかをよく見てたしかめたのである。
B…「ぐたっとしてる」ことらが「ぶんぶんと」動かすのは変である。しかも「しっぽの先」と「ぶんぶんと」も合わない。
弱っていることらが一真の声に反応して「ぴくっと」動かしたのならぴったりだろう。

7 お母さんがキャリーケースをとりだしたときに「少しほこりっぽい」とあった。最初に読んだときに「ほこりっぽいキャリ ーケース」がイメージできていれば、最後のお母さんの「ぞうきんでキャリーケースをふい」た行動も自然につながっただろ う。

以上